

消化器内科

ピロリ菌除菌療法 慢性胃炎への保険適用拡大

国吉病院

消化器内科部長 岡本 博司 さん



ピロリ菌は、胃の中にすみつき、慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどを引き起こします。日本では6千万人がピロリ菌に感染しています。胃がん患者の大多数はピロリ菌に感染しており、ピロリ菌に感染していない人が胃がんにかかることはまれです。

潰瘍や胃がんの発症を減らすために、抗生物質と胃酸を抑える胃薬を組み合わせて内服してピロリ菌を排除する除菌療法を行います。潰瘍や胃がんの発症を減らすことが可能です。これまでも潰瘍や胃

がんにかかった方に対する除菌療法は保険適用となっていました。慢性胃炎に対する除菌療法はそれがなく、希望される方には自費での治療を行うしかありませんでした。しかし、除菌を行うことが胃がんの発症を防ぐ上で大事で、特に若いうちに除菌をすることが大部分の胃がんを防ぐ上で重要となるため、慢性胃炎に対する除菌療法の保険適用拡大が待ち望まれていました。そして、今年の2月22日から、ヘリコバクター感染胃炎に対する除菌療法が保険適

用となりました。治療に際してはピロリ菌が陽性であることに加え、内視鏡検査により慢性胃炎があることを確認する必要があります。

慢性胃炎は中高年では過半数の方に見られますが、症状がないことも多いので内視鏡検査を受けてみることをお勧めします。若い方では20%以下と少ないですが、家族に慢性胃炎、潰瘍、胃がんなどの方がおられる場合は要注意で、検査をした後、陽性であれば若いうちに除菌をすることが重要となります。

除菌治療は発がん予防に有効ですがリスクをゼロにすることはできませんので、除菌に成功した後も定期的な内視鏡検査を受けることをお勧めします。

国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

土曜日のみ 午前9:00～正午

【休診日】日曜日・祝日 急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科 ほか